

ちひろカレンダー普及推進ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031

Eメール：antiatom55@hotmail.com

2015年
12月29日

仮設住宅で年越し餅つき交流会 ちひろカレンダーでみんな笑顔に



岩手県生協連の千葉真寿美さんから、東日本大震災で大津波の被害に会った山田町で、いまま仮設住宅で暮らす町民のみなさんに、ちひろカレンダー贈呈の報告が届きました。

土曜日（12月26日）は順調に朝出発し、早めについてさっそく餅やら雑煮やらの準備を始めました。地元のお母さん方も、くるみや刺身、漬物、酢の物、たまご酒などたくさんのおもてなしの準備をしてくださっていました。一緒に餅つきや雑煮の準備をし、12時頃から食事。盛岡から行ったメンバーは、ばらけてテーブルに入り、それぞれ交流しました。

餅の話では、「杵と臼ですつついてきたが、津波で流されていままでできなかった。ひさしぶりに杵と臼でついた餅を食べられてうれしい」との声も聞かれました。山田の文化で雑煮の餅をくるみにつけて食べるという習慣があり、私たちもそれを真似て食べましたが、とても美味しかったです。つきたての餅はおかわり（おみやげ）もなくなるほど好評でした（きなこ餅も作りました）。

13時から山田民謡伝承会の方の民謡披露があり、その後ビンゴゲームをおこないました。これもまた盛り上がり、支援に行った私たちも含め楽しみました。

最後に、全国の原水協、岩手県原水協、岩手自治労連のいわさきちひろカレンダーを被災地のみなさんに贈るとりくみを紹介し、みなさんにカレンダーを贈ることをお伝えしました。いわさきちひろと聞いて笑顔になったお母さんの顔が忘れられません。とてもうれしそうでした。仮設の皆さんにきちんと配りたいという自治会長さんの言葉があり、配布をお任せしてきました。本当にみなさんのご協力で喜んでもらえた交流会になりました。ありがとうございました。

千葉 真寿美（岩手県生活協同組合連合会・消費者団体連絡協議会）